**ソフトウェア品質シンポジウム2025　「経験論文」「経験発表」**

**発表申込／アブストラクト　記入用紙**

|  |  |
| --- | --- |
| 番号（主催者記入） |  |

**〔発表申込書〕**

**\*EasyChairシステム上にて匿名で査読するため、ファイル名や本ファイル本文に氏名が分かる情報は記載しないでください。**

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル |  |
| 申込区分 | （該当する項目を残してください） 経験論文　／　経験発表 |
| カテゴリ | （該当する項目を残してください）  ・要求やシステム開発などに関連した観点  ・ソフトウェア開発技術の観点  ・マネジメント技術の観点  ・品質管理・テスト技術の観点  ・本シンポジウムでの既発表の内容をもとに追加・改善 |

|  |
| --- |
| キーワード（数個）※本投稿の内容、特長などを表すキーワードを記載願います。 |
|  |

■評価の基準

アブストラクトの採録判定は、投稿者を匿名化し、アブストラクト記入用紙に書かれた内容で判定いたします。　　採録判定は下記の基準で評価します。ご記入の際に参考としてください。

**(1) 有用性**

経験や、提案する方法が、有用であるかどうかで判定します。自明な方法、すでに広く利用されている方法、陳腐な方法、あるいは、極めて特殊な場合や、特殊な分野にのみ適用可能な場合は、有用性が低いと評価します。投稿者及び関係者自身の長期間にわたる実践により得られた結果や考察は、単発や短期間の試行や他者が提供する公開情報（オープンソースソフトウェアの情報を含む）を用いた評価よりも有用性が高いと評価します。

**(2) 信頼性**

提案手法の有用性が性能評価等により示されているか、または製品化、あるいは公開された作品、プロダクト等（ソフトウェア、ハードウェア等）で技術的有効性が客観的に確認されているか、という観点から評価します。アブストラクト投稿時点では結果が出ておらず、経験論文、経験発表を投稿する時点において結果が揃う場合には、査読者がそのことを予想、判断できるような情報や根拠を示してください。

**(3) 構成と読みやすさ**

趣旨が読み取れない場合、採録要件を満たさないと評価します。章構成が適切か、論理の飛躍がないか、文章が短すぎず長すぎないか、表現が適切か、誤字脱字の修正をはじめとして推敲は十分に行われているかを評価します。

**(4) その他**

本シンポジウム、および他のシンポジウム、学会などの場で既に発表済みの内容と**同一の**投稿はご遠慮ください。既発表の内容をもとに追加や改善した点を投稿する場合、または、発表申込時点では既発表ではないが、本シンポジウム本会議時点で既発表となる場合は、既発表の文献を引用し追加、改善した点を明確にすることで査読者が既発表分との違いを判断できる情報を示してください。過去の発表との差分が小さい場合には、その点を加味して評価します。

■ 採録と受賞の判定

**採録は原則としてアブストラクトから判定します。**ただし、採録時の査読コメントが経験論文または経験発表資料（スライド）に反映できていない場合には不採録となる場合があります。また、アブストラクト投稿時点では結果が出ていない等の理由により採否を判定できない場合には条件付き採録とし、経験論文または経験発表資料の内容が条件を満たしたかどうかにより判定します。**受賞はアブストラクト及び経験論文または経験発表資料の両方の内容から総合的に選定します。**

* 発表タイトル・発表概要の掲載について（採録者のみ）

シンポジウム参加者が、セッションを選択する際の事前参考にすると共に、本シンポジウムでの一般発表内容を広く知っていただくため、日科技連のホームページに掲載し、活用させていただきます。

申込時のアブストラクト記載のテーマを紙パンフレット・Webに掲載するとともに、**アブストラクトとは他に「発表概要」（600字程度）をご提出いただきます。**ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せ([sqip-sympo@juse.or.jp](mailto:sqip-sympo@juse.or.jp))ください。

**〔アブストラクト記入用紙〕**

**※アブストラクト執筆に際しての注意事項**

①図表を含め、A4サイズ2枚程度を目安におまとめください。

②万が一、上記容量をオーバーする場合はページを追加ください。

|  |
| --- |
| 1.ねらい |
| 今回紹介する方法で、解決しようとする問題あるいは研究・開発の目標・目的について記してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 2.実施概要 |
| 実施方法について工夫した点がわかるように概説してください。  1で述べられた問題点を改善できることが分かるように記してください。 |
|  |
| 3.実施結果 |
| 2の実施によって得られた効果について（できるかぎり具体的に）概説してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 4.結論 |
| 問題解決の度合い、今後の展開への期待などを主張してください。 |
|  |